

学校経営方針の概要

◆学校が抱える重点課題は、次の3点だととらえています。

①学力向上

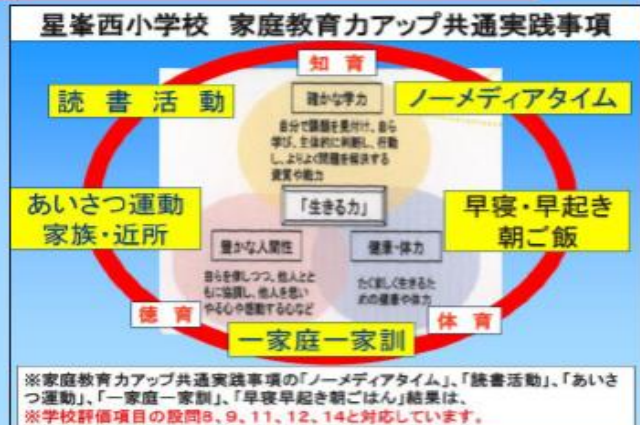
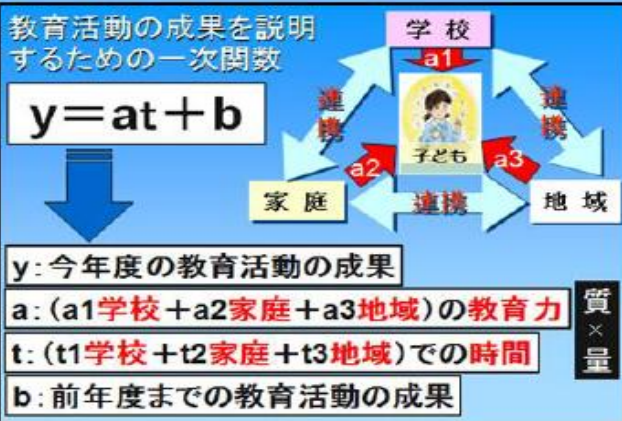
(学校内の授業改善、補充指導の充実、学習の仕方の習得、家庭での宅習の習慣化など)

②基本的な生活習慣の確立

(早寝早起き朝ごはんによる規則正しい生活リズムの確立、電子機器等のルールやきまりづくりなど)

③教育の情報化に伴うデジタル化への対応

(タブレット端末の活用、デジタル通信システムの構築とタイムリーな情報発信等)

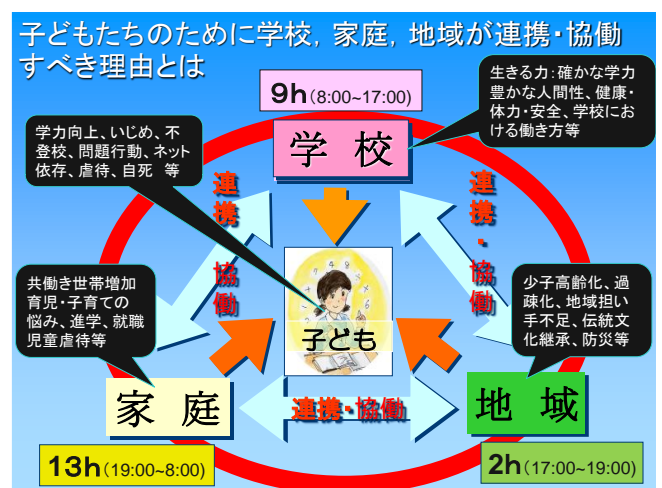


令和3年度4月からスタートした「学校、家庭、地域が連携し、『生きる力』を育む星峯西小学校プラン」に基づき知:「確かな学力」、徳:「豊かな人間性」、体:「健康・体力」の育成のための具体策を立案し、実行。その成果・課題などを総括し、次年度へ確実に結びつける。

【学校経営・運営の基本】

- ①「閉じる」→「開く」……説明責任、結果で示す
- ②「対立」→「協働・連携」……協調性、「共に」の姿勢
- ③「叱る」→「褒める」……質の高い指導・教育力

そのためには教職員と保護者のTW(チームワーク)& TP(チームプレイ)が重要!



すべてのメンバーと共有すべきこと

学校経営の基盤: ビジョン、理念、信頼関係

夢

VISION

※目指す学校像、教師像、子ども像 = 学校教育目標、内容

子どもFirst
子ども第1=子どもたちのために

理念

※目標を具現化する戦略 = 具現化するための方法・手段

教職員・保護者・地域との信頼関係

※情報を共有する場 → 構成員の組織力=チーム力

※ビジョン(VISION)とは「この活動が続けていった結果、このような課題がこのようになっている未来の姿。そのときの学校はこういう状態になっている」ということ

次年度教育課程編成に当たっての4つの柱

- ①今年度の成果と課題を確実に集約→成果はより一層の充実を図る。課題は確実に改善策を反映させる。※新型コロナウイルスによる臨時休業への対応
- ②「教育の情報化」に向けた教科・領域等の指導計画 ※1人1台タブレットpc及びデジタル教材の積極的な活用 教師の指導技術・スキルアップを図る職員研修等の実践 → デジタルとアナログのよさを組み合わせた実践 → 個の優れた指導力が全体に還元される仕組みの構築
- ③(保・幼・)小・中連携、学校・家庭・地域の三者連携の視点で教育課程を更に充実・改善する。
- ④学校における「働き方改革」業務の簡素化・効率化等※ デジタル化への対応(アンケート集計、押印の見直し、承諾書等のペーパーレス化、学校・保護者間等における連絡手段、欠席・遅刻の連絡システムの稼働などデジタル配信システムの積極的活用

令和4年度 星峯西の教育

鹿児島市立 星峯西小学校

Scrap & Build

ボトムアップ & トップダウン

